

### セミナー・講習会

#### Webセミナースケジュール

- 「拾い・積算見積・原価管理・業務改善」  
・2月25日(水)・3月25日(水)・4月22日(水)  
9時～11時30分
- 「点検・防災業務改善」  
・2月26日(木)・3月26日(木)・4月23日(木)  
9時～10時
- 「作業日報・勤怠管理・業務改善」  
・2月26日(木)・3月26日(木)・4月23日(木)  
10時15分～11時
- 「2025改正建設業法セミナー」  
・2月5日(木)・3月5日(木)・4月9日(木)  
10時～12時
- 「公共管轄工事の経費計算と最低制限価格」  
・2月6日(金)・3月6日(金)・4月2日(木)  
9時～10時

#### Web講習会情報

- 「本丸EX2自動更新・建物物価ダウンロード編」  
・2月3日(火) 10時30分～11時
- 「Writeレス管理者操作編」  
・2月10日(火) 10時30分～11時
- 「Writeレス一般社員操作編」  
・2月17日(火) 10時30分～11時
- 「公共工事の経費計算ツールSmartPとは」  
・2月24日(火) 10時30分～11時30分
- 「PlannerEX建物管理編」  
・3月3日(火) 10時30分～11時30分
- 「PlannerEX予定作成編」  
・3月10日(火) 10時30分～11時30分
- 「本丸EX修正編」  
・3月17日(火) 10時30分～11時30分
- 「本丸EX2資材マスタ更新編」  
・3月24日(火) 10時30分～11時
- 「本丸EX2資材マスタ取込編」  
・3月31日(火) 10時30分～11時

ここに記載されていないスケジュールにつきましては同封のチラシ、ホームページをご確認ください。



### IDS広場



#### 恒例護国神社参拝と勉強会

今年の仕事始めは1月5日でした。仕事始めの恒例行事として今年も護国神社へ参拝に行き、社員一同が気持ちを新たに一年の安全や目標達成を願いました。今年も新社長体制となつて初めてのお正月でもあり、改めて身の引き締まる思いで参拝しました。



参拝後に行われた勉強会では、現行のこうじやさんシリーズの新機能や改善点、次期システムの構想などについての説明や、「見積積算」をテーマに研修を実施しました。今回は例年以上に内容を深掘りし、理解を深める機会となりました。また、自社システムについて説明をするインストラクターとそれを受ける人、その内容を的確にジャッジする人を1組にして、実演形式での研修を新たな試みとして行いました。実務を

### 新年のごあいさつ



代表取締役社長 西原 静男

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は公私にわたり格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび代表取締役社長に就任いたしました西原静男でございます。私は31歳の時にこの道に入り、以来約30年間にわたり、設備業界の皆様へ基幹業務ソフトウェアをご提案する事に邁進してまいりました。

現場で皆様からいただいた数多くの叱咤激励こそが私の財産であり、今の私を支える大きな礎となっております。

60歳という還暦の節目にこの重責を担うこととなり、身の引き締まる思いでございますが、これまで培ってきた経験と現場感覚のすべてを注ぎ込み、社業の発展に専心する覚悟です。

現在、設備業界を取り巻く環境は、人材不足やデジタル化への対応など、かつてない激動の時代を迎えております。このような時代だからこそ、私たちは単に「システムを売る」のではなく、「使いやすく、頼れるシステム」を通して皆様の業務効率化と経営発展を支える「真のパートナー」でありたいと強く願っております。

「お客様の成功が、私たちの喜びである」という原点に立ち返り、社員一同、誠実に、そして着実に取り組んでまいり所存です。なにとぞ前任者同様、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。未筆ながら、皆様のご健康とご多幸、そして2026年が輝かしい飛躍の年となりまことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶と就任のご報告とさせていただきます。

### トピック

#### デジタルで現場が変わる！設備業の「面倒」と「詰まり」を減らす

「AIなんて結局なにに使えるの？」そんな声が、設備の現場ではよく聞かれます。しかし今、設備業でのデジタル活用は驚くほど実践的になってきています。その本質は、人を減らすことではなく「現場での時間を増やす」ことにあります。今回は、現場の「面倒」と「詰まり」を減らすAIなどの活用方法をご紹介します。

■「読む・書く」事務作業をAIが下書き  
設備の仕事は、図面や仕様書、報告書といった書類作業と切っても切れない関係にあります。たとえば、膨大な仕様書の読み込み、重要な施工条件が複数のページに散らばっている、新人のうちは見落としがちです。ここでAIの出番です。AIに図面や仕様書を読ませれば、必要な機器のリストアップや注意事項の抽出を瞬時に行ってくれます。



また、現場写真の整理も劇的に変わります。「写真は撮ったけれど、報告書にするのが億劫」という経験はありませんか？今のAIは、写真を見て「何が写っているか」「施工前後の状況」「点検結果」などを判断し、文章の下書きを作ってくれます。最後は人間が確認して責任を持ちますが、白紙から書き出す心理的な壁がなくなるだけで、負担はずっと軽くなります。

■ルーチンワークはRPA※にお任せ  
RPAは「転記・入力・整理」こそ本領でこういった作業はRPAの出番です。例えば

想定した内容で、インストラクターは日頃お客様に説明するスタンスで、操作説明を受ける社員は自社システムをより深く理解できるように、分からないことはしっかりと質問できるように、行い、各々が実りのある研修となりました。



勉強会の後は、社員全員で広島市内にある居酒屋「こまどり」で新年会を行いました。美味しい焼き魚や新鮮な魚を食しながら、普段は接点の少ない各拠点のメンバーとも交流することができ、仕事の話や何気ない会話を通して親睦を深める場となりました。



消防設備で防火対象物点検報告書のオンライン申請というものがありますが、建物の情報を入力するだけでも1物件当たり結構な時間がかかります。RPAは、こうしたルーチンな作業を自動化します。まず、弊社の建物台帳・スケジュール管理システム「PlannerEX」から建物の情報など必要なデータをCSVで出力します。(これ自体は簡単な作業)それをRPAで組み立てた流れに乗せるだけで、あとは自動的に入力してくれくれます。人間は最初に「GO」のクリックをするだけです。

※単純作業をソフトウェアのロボットに任せられる技術

■「トラブルや積算の「迷い」を減らす  
もう一つ厄介なのが、トラブル対応や積算での「詰まり」です。「プレーカー」が落ちる原因がわからない。そんな時、AIに状況を伝えれば、考えられる原因や確認すべき手順を提案してくれます。次に何をすべきかを示してくれるため、若手でも対応できるようになります。積算業務では、ケーブルや支持材など、抜けやすい項目のチェックリストをAIが作成し、ミスを防ぎます。



■小さく始めて、現場に時間を返そう  
「うちでもやってみよう」と思われたならば、まずは小さく始めるのが成功のコツです。いきなり全てを自動化しようと思わず、まずは報告書の下書きや写真台帳など、効果が見えやすい部分から取り入れてみてください。AIやRPAは、あくまで道具です。面倒な作業をデジタルに任せ、空いた時間を段取りや品質管理、そして職人さんの技術を活かす「本質的な仕事」に使う。そんな人間がより輝ける現場を、デジタルの力で作っていきましょう。

### 新入社員紹介



九州営業所の営業部に配属となりました下川健一と申します。会社の雰囲気や面接でお会いした会長と所長のお人柄に惹かれ、この度入社いたしました。これまでIT業界で営業や業務改善のコンサルタントとして勤務してまいりましたが、設備業のお客様へのご提案機会は多くありませんでした。日々皆様から多くを学ばせていただいております。常にハングリー精神を持ち、お客様に喜んでいただき、感謝のお言葉をいただける営業スタッフを目指して努力してまいります。また、休日はドライブを楽しみながら九州各地の魅力に触れる機会を大切にしています。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 編集後記

皆様は年末年始をゆっくりと過ごされましたでしょうか。広島市はめったに雪が降らない地域ですが、今年は珍しく多くの雪が降り、身の引き締まるような寒いお正月となりました。私は今年、初日の出を見ることができました。私には、わさわざ見に出かけることはこれまでにありませんでした。やはり太陽の光を浴びると「新たな気持ちで1年間頑張ろう」という活力が湧いてきますね！

本年も「こうじやさん」シリーズ共々、どうぞよろしくお願いたします。



撮影：観音マリーナ海浜公園

編集 田村

### 展示会出展報告

ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO  
11月19日・21日東京ビッグサイトで開催された「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2025」に出展しました。建物台帳や点検日程を効率的に管理できるシステム「PlannerEX」を展示し、人手不足や生産性向上等の課題に対し多くの来場者と活発な意見交換を行いました。最新トレンドの収集も叶い、今後の事業展開に弾みをつける有意義な機会となりました。



### 東京みらい市2025

11月14日・15日に東京ビッグサイトで開催された「東京みらい市」に参加しました。会場には首都圏を中心に百台以上のバスで工事店様が来場し、最新の機器や資材、業務効率化への関心の高さが感じられました。弊社ブースでは「拾い出し・積算見積・原価管理・日報勤怠・公共工事経費計算システム」を出展し、多くの工事店様や既存ユーザー様にお立ち寄りいただき、現場課題に寄り添った提案と直接の対話を通じて、導入効果を具体的に伝えることができました。



